

『阿修羅城の瞳』

—人物相関図—

文政八年（1825年） 江戸

鶴屋南北一座

四世 鶴屋南北
(つるやなんぽく)
<美稀 千種>
江戸戯作界の大巨人

弟子入り

俵藏（ひょうぞう）
<輝咲 玲央>
南北の弟子

孫太郎（まごたろう）
<夕渚 りょう>
南北の弟子

滝次（たきじ）
<天希 ほまれ>
南北の弟子

春弥（はるや）
<凜央捺 はる>

夏彦（なつひこ）
<透綺 らいあ>

秋尾（あきお）
<彩紋 ねお>

冬五郎（ふゆごろう）
<青風 希央>

病葉出門
(わくらばいすも)
<礼 真琴>
“鬼殺しの出門”と称された
腕利きの鬼祓い
五年前の事件を機に
「鬼御門」を去る

執着

闇のつばき
<暁 千星>
記憶を失くした謎の女
「鬼御門」から逃れる最中、
出門に出会う

闇椿組

火縁（ひえん）
<瀬乃 桜季>
渡り巫女

水誼（みなぎ）
<七星 美妃>
渡り巫女

樹真（じゅま）
<二條 華>
渡り巫女

谷地（やち）
<都 優奈>
渡り巫女

呼鉄（こてつ）
<綾音 美蘭>
渡り巫女

五年前

少女
<茉莉那 ふみ>
魑魅魍魎と共にいる少女

鬼

桜姫（さくらひめ）
<詩 ちづる>
晴明の娘

許嫁

鬼御門

十三代目 安倍晴明
(あべのせいめい)
<ひろ香 祐>
鬼御門の頭領

安倍邪空
(あべのじゃくう)
<極美 慎>
鬼御門の副長

美惨（びざん）
<小桜 ほのか>
鬼を率いる
尼僧姿の妖かし

兄弟弟子

追う

手を組む

鬼御門三界衆

安倍雷王
(あべのらいおう)
<碧海 さりお>
空の守り神

安倍毘沙門
(あべのびしゃもん)
<天飛 華音>

安倍鳴王
(あべのめいおう)
<夕陽 真輝>
海の守り神

安倍大黒
(あべのだいこく)
<稀惺 かずと>

安倍震王
(あべのしんおう)
<大希 風>
陸の守り神

阿餓羅（あがら）
<白妙 なつ>
尼僧姿の鬼

吽餓羅（うんがら）
<紫 りら>
尼僧姿の鬼

笑死（えみし）
<瑠璃 花夏>
童姿の鬼

鬼

<希沙 薫><楓香 凜><奏碧 タケル>
<楓真 斗愛><紗希 柚葉><羽玲 有華>
<星咲 希><碧音 斗和><御剣 海>
<世晴 あさ><鳳花 るりな><鳳陽 さや華>